

喜界町



# 議事だより

192号

令和5年7月20日発行

写真:四目ウツカー

主 な 内 容	令和5年度 一般会計補正予算	2
	条例・同意等案件報告	3
	一般質問に6名が登壇	4
	行政視察調査研修報告	10
	第一回議会報告会・議会のうごき	11
	読者の声・編集後記	12



発行/喜界町議会 編集/議会広報委員会

〒891-6292 鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地

TEL:0997(65)1115・FAX兼用

# 鹿児島県で国体開催 町は夏祭りフネインカー競技盛大に

令和5年第2回定例会は、6月6日開会し6月13日までの8日間の会期で開かれた。6月6日は一般質問があり6名が登壇。また承認9件を承認、報告5件があり、工事請負契約1件を可決、同意11件を同意し、議案3件を各常任委員会に付託した。6月13日の最終本会議では、各常任委員会の委員長から報告があり議案3件、追加議案3件を可決した。

## 令和5年度 一般会計補正予算の主なもの

担当課	事業名	内容説明	予算額
総務課	一般コミュニティ助成事業	宝くじ助成金を活用し対象集落の備品購入費等の補助金で、今年度は「前金久集落」	2,400千円
	行財政改革対策費	国の職員が地方応援隊となる事業を活用し、交流人口増加に向け全国で同様の課題に取り組んでいる自治体職員、国の地方応援隊との意見交換会を開催するための旅費	630千円
	脱炭素化推進事業費	脱炭素社会へ取り組むための協議会委員への報償金先進地視察や、電力会社・金融機関等との協議を行うための旅費など	1,833千円
企画観光課	ふるさと寄付金事業	PR販売を行う出店事業者への助成事業で、一事業者当たり25万円を助成	1,250千円
	地域おこし協力隊費	ジオパーク推進員を新たに地域おこし協力隊として採用するための経費	4,405千円
保健福祉課	電力・ガス等価格高騰支援給付金	電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯（住民税非課税世帯等）に対する給付金を支給	45,000千円
	子育て世帯生活支援特別給付金	物価・賃金・生活総合対策として生活に影響を受けている低所得の子育て世帯に対し特別給付金を支給	8,500千円

## □ 令和5年度 一般会計補正予算の主なもの

担当課	事業名	内容説明	予算額
まちづくり課	道路新設改良費	道路新設工事の労務単価の増額と週休2日制が導入され経費が上がったため増額するもの	2,080千円
農業振興課	畜産基盤再編総合整備事業	畜産基盤再編総合整備事業負担金の農家負担分を地域振興公社に収めるもの	41千円
	糖業振興費	ゴマ機械助成金	533千円
	農地費	4月の大雨で崩れた路肩の修繕費	1,200千円
教育委員会生涯学習課	保健体育総務費	国体が今年度鹿児島県で開催されることにより、本町では夏祭りに開催されるフネインカー競技がデモスポ(県民の皆様が気軽に国体に参加できる機会を設けること)となっており、大会を盛大に行うための費用	1,305千円

## ○ 条例・同意等案件報告

(議長は採決に含まず)

議案	内容	賛成	反対	採決
議案第28号	喜界町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	11	0	可決
	新型コロナウイルス感染症の位置付けが2類から5類になったことにより、新型コロナウイルス感染症に対処する特例の特殊勤務手当の条文を削除			
議案第29号	喜界町観光・ビジネス拠点施設設置条例の制定について	11	0	可決
	旧荒木小を活用したコワーキングスペース・サテライトオフィス・キッズスペース等の施設設置条例を制定するもので、名称を「KIKAI BASE」とし、管理に関する事項や使用料金等を制定 「指定管理者 KIKAI BASE 管理組合 代表 益田辰也」			
同意1号から11号	喜界町農業委員会委員の任命について	11	0	同意
	加島英郎氏・川村英幸氏・嶺倉克己氏・山口正幸氏・肥後剛氏・益田豊一氏・要守氏・直喜一郎氏・芝山静男氏・廣秀範氏・宮本一徹氏を任命			

# 一般質問 町政のここが聞きたい

第2回定例会で6名の議員が町政全般にわたり一般質問を行いました。質問と答弁を要約して紹介いたします。



質問する  
くらはし ひろとし  
倉橋 博都 議員

## 通学路、通園時の安全対策

【質問】

2018年大阪北部地震で当時小学4年生の女兒が登校中に長さ約40メートル、高さ1.6メートルのブロック塀が倒壊し、下敷きになって亡くなるという痛ましい事故があった。

子供たちの通学路等にブロック塀が多く見られ、中には傾いて亀裂が入っている箇所もある。本町においても園児や児童の通園・通学の時間帯に地震が起こり得る可能性がある。

①通学路のブロック塀の点検が必要ではないか。

②本町では危険箇所の点検等がなされた経緯があるのか否か。

【答弁】 教育長

①保護者や地域と連携して、校区内の危険箇所を示した安全マップを作成し、注意喚起や必要な指導を行っている。

②点検等については、年一回、合同で実施をしている。各学校では危険箇所の情報収集に努めている。

## 観光案内板・集落名の看板設置について

【質問】

観光案内及び集落の看板が少ないという観光客からの意見もあり、看板の設置等は考えてはいないか。

【答弁】 企画観光課長

観光案内板は、社会全体のデジタル化への移行で喜界町公式観光アプリ等を活用している。

国の補助事業等も方向転換されているため、新たな看板設置は、単なる案内板ではなく、違う手法を考え、今後進めていく。

## 嘉鈍集落の巨大ソテツについて

【質問】

今後どのようにソテツを生かしていくのか。

【答弁】 教育長

巨大ソテツは、町指定の文化財のため活用等については、喜界町文化財保護審議会で審議、検討し、教育委員会が対応している。

今後、大学の先生や樹木医などの専門家に、現在の対応等の問合せや相談等を進めて、早急に対応したい。

## 野生鹿及び野生のイノシシについて

【質問】

令和4年度の1頭当たりの駆除費が1万5,000円から2万円に上がっている。その中の5,000円は焼却費用と聞いている。

①駆除費の増額はできないか。

②子鹿の駆除費は5,000円と聞いており、この金額では捕獲した子鹿を逃がす人もいる。子鹿も親鹿同様、駆除費を出せないか。

③野生イノシシは何頭ぐらいいるか。

【答弁】 農業振興課

①燃料等の高騰による駆除従事者の負担軽減等を踏まえ、令和4年10月にも駆除費の見直しを行った。1頭当たり1万円から1万5,000円へ引上げを行っている。10頭目から2万円へ増額。成獣1頭当たり7,000円、幼獣1頭当たり1,000円、国の補助事業を活用し残りは全て町の単費負担で実施している。

②幼獣についても、駆除従事者の目的意識の高揚を図ることなどから、成獣同様の金額とし、今後も実施したいと考えている。

③野生鹿の調査目的で監視カメラを設置している。百之台周辺に設置しているカメラにイノシシであろうと思われる個体が写っているのが確認されている。カメラに写っていたのは単独1頭だけで、複数いるかは確認ができていない。



質問する  
よしおか りいちろう  
良岡 理一郎 議員

## マイナカードは町民の意思を大切に慎重に進めるべき

### 質問

- ① 直近のマイナカードの本町での交付枚数・交付率及び国・県の交付率について伺う。
- ② 本町の医療機関のオンライン資格確認システム(カードリーダー)の導入、利用状況。
- ③ 全国的には個人情報流出などトラブルが頻発している。本町ではマイナカード、マイナ保険証でのトラブルは発生していないか。

### 答弁

- 町民税務課長・保健福祉課長
- ① 5月21日現在、本町の交付者数4,478名、交付率66.37%。国の交付率71.44%、県については77.44%である。マイナカードの返納申請はない。
  - ② カードリーダーの導入は診療所、喜界徳洲会病院は既に利用可能。3歯科医院の内、2医院は導入済で、残り1医院も今月中に設置予定である。

マイナ保険証の利用状況は喜界徳洲会病院は月50件ほど、診療所

と2歯科医院は月1件ほどである。  
③ マイナカード、マイナ保険証でのトラブルは発生していない。

## 自然災害対策 海拔表示改善と避難訓練を実施

### 質問

この間、町でも自然災害対策を実施してきた。その進捗について伺う。

- ① 公民館の雨戸設置、外トイレの解消。
- ② 災害情報の伝達について機器類の事前点検が必要ではないか。
- ③ 海拔表示、特に避難実績もある産業道路への表示。
- ④ 地震・津波対策から海岸線集落の高台への避難訓練。現状と今後の計画。
- ⑤ 無電柱化(電線の地中化)は令和元年12月から解決を求めている。災害対策の観点からも先ずは役場及び避難所周辺の無電柱化を検討すべきではないか。

### 答弁

- 総務課長
- ① 雨戸設置済の公民館等は28集落である。未設置は前金久、神宮、坂嶺、塩道、阿伝、花良治集落等で海岸線に近く、高潮等のリスクがあり、避難所として難しい施設である。できるだけ近くの代替施設等を検討している。

② 防災無線の点検については年2回の保守点検を実施している。個別受信機については個別対応してい

る。

③ 海拔表示は、新たな試みとして産業道路の路面に直接表示する方法を白水公民館上、嘉鈍水源地付近の町道、花良治蒲生間の山側の町道、花良治集落山側の町道の4カ所に設置してある。

④ 津波避難訓練は、津波浸水危険区域を中心に実施している。昨年度は早町、塩道、白水地区で実施、今年度は先山、浦原地区で調整中。来年度以降は選定地区を調整中である。

⑤ 無電柱化は防災だけでなく景観、電柱倒壊による交通の妨げ、電力事業者との関係、費用対効果、脱炭素DX等総合的に勘案する必要がある。そのタイミングで検討することはあり得る。

## 教員の残業時間 上限目標は月45時間 年間360時間

### 質問

先生方の長時間労働の是正は労働条件の改善としてだけでなく、子供たちの教育条件としてきわめて大切な国民的課題となっている。

① 文科省の教員勤務実態調査と本町での小学校、中学校の毎年度超過勤務時間についての特徴。  
② 教頭の超過勤務時間が多いとも聞く。その要因と対策。

③ 従来、業務改善アクションプランが策定され、2021年度は超過勤務時間を上限45時間以内、教職

員の8割以上が業務改善を実感できることを目標とした。結果を伺う。合わせて2023年度以降のアクションプランを示していただきたい。

### 答弁

教育長

① 超過勤務時間の上限とされる上限月45時間を超える教諭は全国調査では小学校64.5%、本町は小学校21.3%。全国調査の中学校が77.1%に対し本町は27.6%で本町が低い。

次に過労死ラインとされる月80時間を超える数値は全国調査では小学校が14.2%、本町の小学校は0.7%。中学校では全国が36.6%であるのに対し本町では5.7%である。総括してみると本町では改善が図られている。

② 教頭の長時間勤務の実態がある。今後の対応として統合型校務支援システムデジタル化による効果的な運用を図ることで効率的な文書管理、会議の縮小を考えている。

③ 2023年度以降は県教委として新たなアクションプランは示さない。

今後は学校管理規則に正規の勤務時間以外の勤務について月45時間、年360時間を規定した上で各市町村の実態に応じてそれぞれで勤務管理や業務改善に取り組んでいく。



質問する  
よねだ のぶや  
米田 信也 議員

### 空路・航路の離島割引制度の拡大について

**質問** 現在、離島割引制度が利用できる条件は町内に住所を有することである。

サンゴ留学がスタートした今、留学生の親族等が島に訪れる機会が増えている。

また、既に誘致している企業や荒木小学校跡地のサテライトオフィスに企業を誘致する事や喜界町出身者の帰島を促し、町の人口減少を食い止めるためにも喜界町出身者、サンゴ留學生の親族、誘致している企業の従業員への離島割引制度の適用、拡充の可能性について伺う。

### 答弁 町長

この制度については、群島における割高な移動コストの群民、住民の負担軽減のため、また交流人口拡大に向けた運賃等の移動コスト軽減に係る試験的取組等を目的として奄美群島振興交付金事業を実施するため、奄美群島航路、航路運賃軽減協議会が設置されその中で奄

美群島の航路運賃低減事業として実施している。  
制度の趣旨からして、限られた財源の中で各自治体の個別要望は難しいと思う。

留學生の家族、企業誘致関係、移住定住などは自治体がどのような優遇措置を持つて受入れるのか、自治体の特色も努力義務もある。町単事業でも財源を確保してやりたいが、すぐに離島割引制度は、本町だけの考えでは出来ない。

問題意識は持つていて、当局と議員も要望等を重ねながら、実施に向けて取り組む。

### 雨天時の海への土砂流出による環境への影響について

### 質問

①大雨による土砂が大量に海へと流れ込んでいます。観光資源であるサンゴ礁への影響を調査する必要があるかについて伺う。

②島の産業の一つである漁業への影響も、調査が必要であるが、町としての見解を伺う。

③土砂流出は、沈砂池及び浸透池の設置場所、箇所が適正か調査する必要があるが町としての見解を伺う。

### 答弁 農業振興課長

①サンゴ礁への影響・調査は、企画観光課で定期的にサンゴ等のモニタリング調査を実施している。結果は特に問題はない。

引き続き調査結果などを踏まえ関係部署との情報共有を図って、対策に当たる。

②サンゴ礁への影響の調査は、白化現象がある箇所は担当課に連絡すれば調査、対応する。

海洋生物への影響調査は、関係担当課、自然保護の担当課と情報共有し検討する。

③沈砂池等については、主に雨水による農地からの土砂の流出を防止する目的で設置されている。一部、地下ダムの水を確保する目的でも活用されている。

土木工事を行う際、工事仕様書において土砂流出防止策を講じるよう指導も行う。

水土里サークル活動でも、梅雨前、台風シーズン前に沈砂池等の清掃及び排水路の土砂を上げるなどの対策を取っている。



土砂流出

### 旧東部地区簡易水道について

### 質問

①東部浄水場の電気透析設備は島内浄水場の中で一番古く、石灰処理能力が低いと思われる。町の対応を伺う。

②佐手久をはじめ、東部地区の複数の集落の配水池が50年以上前に造られたコンクリート構造である。早期の建て替え及び浄水場からの直接配水に替える必要があるが見解を伺う。

### 答弁 まちづくり課長

①東部浄水場から供給される水の硬度が他の浄水場と同等になるよう、国庫補助を活用し、電気透析設備の整備を計画している。町長も離島行政懇談会で離島振興地域等における上水道事業者が実施する施設整備に対する補助制度の拡充について、要望活動を実施。

現在は浄水場の統廃合、再構築も含めて検討する。

今後は国庫補助の採択基準の緩和及び新たな補助が創設された場合には、迅速かつ柔軟に対応していく。

②現在、地下ダム建設に伴う水源池の移設工事を最優先に行っており、それが終了次第計画的にコンクリート構造の配水池を撤去し、減圧槽を設置して、浄水場からの直接配水としたい。



東部地区簡易水道



質問する  
どき かずき  
土岐 和貴 議員

### 人口構造の若返りに重点を置くために

#### 質問

令和5年第二回定例会にて、社会減少と自然減少への取り組みも同時並行的に進めていくことで、人口規模の確保が必要と述べていた。

① 企業誘致や働く場、担い手の創出を図るためにどのような戦略で取り組んでいるか。

② 交流人口を増やしていきたい、移住定住に繋げていく必要があるが、PR活動はどのような取り組みか。

③ 施政方針で掲げている「トップセールス」とあるが、今年度は本町独自のPRイベントはどのように計画しているか。

④ 喜界町のPR動画がYouTubeで総再生回数565万回ほど再生されている。PR動画を公開した後と前で観光に訪れた比率は変わっているか。

⑤ 喜界町のPR動画を県内外の空港やSNS等を活用していくことは必要ではないか。そして、今後DX推進事業等を活用した予算の確保も可能ではないか。

⑥ 次世代の考えなど10年後20年後のビジョンを共有する場が必要だと考えるが、人口構造の具体的な内容を伺う。

#### 答弁 町長・企画観光課長

① 令和4年度に鹿児島県企業誘致推進協議会に加入。今年度は東京開催への参加を予定している。

② PR動画の作成、クルーズ船の受入れ、お試し移住ハウスの活用、各種物産展におけるブースの設置、テレビ・ラジオでのPR活動など行っている。

③ 年一回、開催場所に偏りが生じないように実施すると決定。本年度、町単独イベントは令和5年6月2日から4日間、博多駅で開催の喜界島マルシェ・オンライン広場を実施した。

④ 現在、調査分析を実施できていない状況であるが、移住相談の問合せ件数が増えたり少なからず影響が出ている。

⑤ 町公式のSNSでの継続的な宣伝やDVD(PR動画)を貸出し、様々なイベント等に参加される事業者に活用していただきたい。予算確保については事業等を導入しながら財政サイドと注視して進めていきたい。

⑥ 町内在住の若者がまちづくり等に関して協議する場を創出し、その中で見いだした施策や事業等を町長へ提案してもらうことで若者のまちづくり参画を促す。

### ふるさと納税制度を最大限活用「島の魅力・すばらしさ」を全国に

#### 質問

令和4年度の寄附件数、1万5,009件。寄附金額は、1億6,797万4,000円。

① 現在5つのサイトを利用。今後に向けて本町独自のふるさと納税PRサイトは考えているか。

② 寄附金の活用内容等もわかりやすく見える化することで継続的なファンを増やしていきたいのではないかと。③ 生産者と納税者の繋がりを活かしていくためには新たな取り組みが必要ではないか。

#### 答弁 企画観光課長

① 本年度中に各サイトの情報を1か所に集約し、検索しやすいサイトを構築する予定。

② ふるさと納税集約サイト内にて寄附金の使途を掲載できるページも設ける予定。

③ 本年度は地域生産者の見える化を図り、より喜界島を身近に感じてもらえるよう、生産者紹介等を新たなサイト内で構築していきたいと考えている。



### 第5類に移行し弱体化しているウイルス「本当にワクチンは必要なのか」

#### 質問

厚労省では安全性と有効性に関する追跡調査の実態も明らかになっていない状態である。そして2,000名以上の死亡報告事例があり現在観測されている過去最大規模の超過死亡との因果関係も否定できないと厚労省からの答弁もあった。

① 第5類に移行し、感染報告も少ない中で本町においてワクチン接種が本当に必要なのか。

② 感染拡大及び重症化防止とあるが本町で有効性の実績調査や副反応の実態調査は行っているか。

③ 特例扱いの新型コロナウイルスの有効性と安全性の分析調査も継続して行っていく必要があるのではないかと。

#### 答弁 保健福祉課長

① ワクチン接種は感染拡大や発症を防止し、死亡者や重症者の発生をできる限り減らすことを目的に実施。接種を希望するか希望しないかは、個人の判断であり、今後も正確な情報を提供するとともに、強制でないことを周知していく。

② 本町では有効性の実績調査や副反応の実態調査は行っていない。国が実施することだと認識している。

③ 分析調査も国の役割だと認識している。副反応等への対応は相談窓口を設置している。



質問する  
さかえ ゆうた  
榮 優太 議員

### 堆肥センター規模見直しが必要では

- 質問**
- ① 堆肥センター建設の事業計画及び進捗(今後の事業計画等)を伺う。
  - ② 令和4年度第1回定例会の答弁では検討中の堆肥の価格試算で、町の財源負担が年間大体1,600万から1,900万との答弁があった。原料になる汚泥処理や生ごみ処理、また、雑木等の処理費用がどれくらい減るのか。また、町の財源負担がどれくらい変わったか。
  - ③ 堆肥場建設工事総額予算は幾らぐらいを予定しているか。重機、設備機械のみで幾らか。

### 答弁 農業振興課長

- ① 今年度中に国庫補助事業の検討、選定を行う予定として来年度補助事業の選定が終わり次第、補助事業の申請で採択。そして設計、施工、管理運営業者の決定を行い、契約を行いたいと考えている。
- ② 原料となる処理費用、まず下水道汚泥について年間の汚泥排出量、処理施設までの海上輸送費、陸上

輸送費と施設などの処理に関わる経費から算出すると、年間約1,200万ほど見込んでいる。財政負担については堆肥センターの事業運営上は、年間平均で約1,600万ほどの赤字費用がかかる試算となっているが、施設の規模、減量の量などの見直しを行うことで、事業費の見直しを行う予定で、町の負担も変わる予想である。

- ③ 建設工事の総額予算は、約20億程度を見込んでいるが、処理の原料見直しや処理量の積算をして、施設の規模などを含めて、改めて算出したいと考えている。重機、設備機械で当初計画は、重機が約1億5,600万、設備が設備機械で約3億5,500万との算定を行っている。



### 子供の第三の居場所で学習支援

#### 質問

- ① 本町の不登校は現在何名いるか。不登校の定義に当てはまらない全ての長期欠席者は何名か。

- ② 不登校の理由や登校したくてもできない理由などは把握しているか。また、不登校をなくすために学校または教育委員会としてどのようなことを行っているか。

- ③ 不登校や長期欠席者の学習支援は行っているか。長期的に休むと学習が追いつかず、さらに学校に行けなくなる、行きたくなくなると思うが、どのように対応をしているか。
- ④ フリースクールのような一人一人が自分に合った環境、学習支援も必要だと思うが、いかがか。町で立ち上げることができないか。

### 答弁 教育長

- ① 昨年度末の実態を基に長期欠席者の分類は大きく二つに分類する。不登校による長期欠席者、もう一つは病気や経済的理由及びその他の事情による長期欠席者で不登校生は小学校はゼロ、中学校が8名である。

不登校の定義に当てはまらない長期欠席者は小学校が1名、中学校が7名となっている。合計した長期欠席者は小学校が1名、中学校が15名の合計16名。

- ② 不登校の理由や背景は、欠席の頻度や様態も多種多様で、学校では保護者と十分連携し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、児童相談所などと連携して、個別に分析し、理由や背景の把握に努めている。

- ③ 学習支援については欠席の頻度や様態などによって若干異なるが、

欠席がそれほど多くない場合は登校した際の授業や宿題などによって対応し、欠席日数が多い場合は定期的に家庭訪問を行い、学習プリント等を届け、見届けるなどの対応に努めている。

- ④ 一般的にフリースクールと呼ばれるものは個人やNPOが運営することが多く、教育委員会や公共団体が開設する場合は適応指導教室と称することがほとんどである。今後、居場所としての適応指導教室を開設するかどうか見極めていきたいと考えている。







質問する  
いくしま つねのり  
生島 常範 議員

## 堆肥センターについて

① 牛ふん、生ごみ、下水汚泥、雑木等を原料に資源循環型社会を推進し堆肥生産を目指す計画だが、農家の方が利用しやすい料金設定が必要と思うが如何か。

② 建設計画を見直して今年度中に事業申請、7年度工事着工、8年度運用開始とのことだが、早い時期から検討委員会メンバーに堆肥を利用する方々の「声」が反映されるよう、農家代表を追加できないか。

### 【答弁】 農業振興課長

① 設備の環境や規模、地域の実情によって価格は異なると思う。他市町村を参考にした場合、堆肥センター事業運営の価格は1トン5,000円程度だと思う。現在町も園芸資材や有機物資材購入分に支援を行っているが、そうした価格設定とは別に農家の方、一般町民も家庭菜園等で利用しやすい価格設定を今後検討していきたい。

② 検討委員のこれまでの取り組み

で堆肥センター建設事業の基本構想は出来た。原料(牛ふん)の量が変わったことにより、生ごみの問題、雑木、生活環境の中の有機物、廃棄物も含めた取り組みも必要になるため、今後は農家のみでなく区長、地女連等町民の代表の方を含めてより良い施設になるよう取り組んでいきたい。

### 喜界町を目指す

「キラリと輝く人づくり」と「アカデミックな観光展開」について

### 【質問】

① 今年は海外を含めたクルーズ船が既に3回寄港した。歓迎セレモニーで喜界島オンリーワンの町指定八月踊りや棒踊り等も披露戴き後継者を含めた人づくりと観光振興を図る仕組みが作れないか。

② 島内集落の行事や八月踊り等が「奄美遺産」に指定された事を知らない集落民が多い。集落公民館に案内板設置や公民館内にパネル設置して広く周知し、保存・継承・拡散の気運を盛り上げられないか。

③ 「上嘉鉄八月踊り」が(島の唄と踊り)として平成28年度に「奄美遺産」に指定されているが、現在どの集落も保存・継承が難しい状況だ。「喜界島の八月踊り」(喜界町全集落)として「奄美遺産」若しくは「町指定文化財」に指定できないか。

### 【答弁】 教育長・企画観光課長

① クルーズ船受け入れの際は対策会議を立ち上げ、イベント部門は観光物産協会が担当している。今回も八月踊り保存会へ要請を行ったが平日の日中ということもあり人員の調整がつかず断られた。今後は寄港の計画が事前に分かれれば観光物産協会と協議しながら、喜界島の文化PRに向けて動きたい。

② 「奄美(シマ)遺産」は奄美群島文化財保護対策連絡協議会(事務局は教育事務所)が平成28年、29年度にかけて伝統的な文化遺産や文化財として認定し、保存・継承や地域づくり等に生かすことを目的とした取り組み。その後活動が終了したため活用や位置づけが曖昧になっている。これまでの経緯や他市町村の状況等を調査し今後の扱いを協議したい。また、周知・啓発を進めるとなれば看板設置等も含めて協議したい。

③ 「奄美(シマ)遺産」の活動、取り組みは終了しているので申請登録は不可能だが、町の文化財保護審議会の中に伝統文化に関する項目もあるため、全集落の八月踊りも含めた無形の伝統文化の取り扱いについて教育委員会から審議会に諮問して協議していきたい。

表14 町指定文化財

No.	種別	指定名称	保管場所	指定年月日
46	無形民俗文化財	志戸桶八月踊り	現地(志戸桶)	平成29年7月14日
47	無形民俗文化財	島中棒踊り	現地(島中)	平成29年7月14日

表15 奄美遺産

No.	種別	指定名称	分類	指定年月日
3	ウヤンコー(先祖祭)シバサシ~高祖祭	喜界町全域	年中行事	平成28年度
4	上嘉鉄の八月踊り	上嘉鉄	島の唄と踊り	平成28年度
17	ソーミンガブー	中里	年中行事	平成29年度

資料:「史跡 城久遺跡保存活用計画書」(喜界町教育委員会・令和5年3月)29項~30項



## 第一回 議会報告会

4月27日(木)午後6時から役場コミュニケーションセンターにおいて、第一回議会報告会が開催されました。以前から計画していたのですが、コロナの影響で延期を余儀なくされ、今回ようやく開催の運びとなりました。

告知が遅かったにもかかわらず、21名の参加者がありました。告知に時期、方法に課題がありましたが、次回に繋げていきたいと思います。

報告会は、栄哲治議長の挨拶から始まり令和5年第一回議会定例会の当初予算の報告を総務文教常任委員会所管分(総務課、企画課、町民税務課、会計課、教育委員会、消防分署)を野間弘也委員長が行い、続いて産業福祉常任委員会所管分(保健福祉課、まちづくり課、農業振興課、農業委員会)を生駒弘委員長が行いました。その後、広報委員会の良岡理一郎委員長から活動報告について説明がありました。今回は、プロジェクトで映像を流して説明を行い、

紙の資料を使わずに進行すると言った新しい取り組みを行いました。参加者からは、紙の資料も用意して欲しかったとの声もありましたが、今後の課題です。

各委員会の説明が約1時間かかり、その後質疑応答に移りました。参加者の皆さんからは、たい肥センターや最終処分場など多岐に渡ったの質問があり大変有意義な時間が持てました。議員との質疑の間をもっと取ってほしいとの意見が多く寄せられました。

最後に安田英次郎副議長の挨拶で報告会を終了しました。

文責 米田 信也



### 議会報告会お礼

喜界町議会議長 榮哲治

4月27日に開催された第一回議会報告会に21名の町民の皆さんの御参加を頂きありがとうございます。喜界町議会では、初めての取り組みでしたが、町民の活発な意見が聞かれ第一回目としては、まずまずの成果であったと思います。次回からは、参加者を増やす為に広報きかい等で予め周知したいと思います。

## 議会のうごき (6月~9月)

- 7月4日(火) …… 正副議長研修会 (鹿児島市) 議長・副議長
- 7月14日(金) …… 全国離島振興市町村議会議長会総会・研修会 (オンライン形式) 議長
- 7月24日(月) …… 奄美・やんばる広域圏交流推進協議会総会 (徳之島町) 議長
- 7月31日(月) …… 防衛省全国情報施設協議会総会 (東京都) 議長
- 8月17日(木) …… 市町村政研修会 (鹿児島市) 議員全員
- 9月議会上旬

### 訂正とお詫び (「議会だよりNo.191号」記載誤りについて)

令和5年4月30日「議会だより」4ページに掲載しました、令和5年度一般会計当初予算の主なものについて記載内容に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

#### ○ 保健福祉課 出産祝金内容説明

4子以降 40万円を祝金として給付する。→ 4子40万円、5子以降50万円を祝金として給付する。

読者の声

喜界島を離れても…

辻崎 智大 つじざき ちひろ

島で過ごした18年間、私は地域の方々に支えられ、応援していただいたおかげでここまで成長することができました。部活外での練習の手伝いをしてくださったり、授業を見にきてくださったりと、とても力になりました。本当にありがとうございました。

私は今年から島を離れ福岡での生活をスタートさせました。福岡では喜界島と違い、すれ違った時に挨拶を交わすことなどありません。困っている人がいてもみんなが見て見ぬ振りをしています。私は喜界島とのギャップに驚かされると同時に喜界島の温かさや人の良さが当たり前ではないということにはじめて気が付きました。しかし島では感じることも出来ない刺激もあります。新しい出会い、新しい環境、その二つが私にとって新鮮で活力を与えてくれます。社会の荒波にもまれ、さらに成長した姿を皆さんに見せられる様にこれから頑張っていきたいと思えます。その過程で辛いことや挫折、不安に押し潰されそうになることもあると思います。そんな時には喜界島で過ごした日々を思い出し、負けないように踏ん張っていききたいと思っています。コロナの影響で夏祭りや島遊びも私が高校生になってからは中止になり、島んちゅ

喜界高校卒業 赤連集落出身(福岡在住)

みんなが島を盛り上げるといことが少なくなってしまう。しかし新型コロナウイルスの規制も緩和された今年からは例年通り色々な行事が再開され、喜界島がより一層盛り上がるのではないかと思っています。

私が今、後悔していることがひとつだけあります。それは「島だからできないこと」ばかり探してしまったということ。なぜ「喜界島でしかできないこと」を探さなかったのかと本当に後悔しています。綺麗な海で泳ぐことはどこでも出来ることではありません。OBの方に練習を手伝ってもらえることは鹿児島、福岡など都会ではほとんど無いそうです。「喜界島でしかできないことを探す」私が島を出て感じ、島の若い世代に1番伝えたいことです。福岡にきて2ヶ月、綺麗な海と大きなガジュマル、満天の星空がすでに恋しくなってきました。やっぱり私は喜界島が大好きなのだ実感しました。島で活躍している皆さんのように、私も立派な理学療法士になって多くの経験を積み、いつか島んちゅの皆さんに、喜界島に恩返しできるように日々精進致します。

ご案内

次の議会は、  
**9月上旬を予定しています。**  
午前9時30分 開会  
皆様の傍聴をお待ちしています。

また、喜界町ホームページでは、議会開会中の模様をインターネット中継でご覧いただけます。  
(動画配信サイトで「喜界町議会定例会」を検索していただき、録画もご覧いただくことができます。)

お問合せ 喜界町議会事務局 電話 65-1115

編集後記

□にするのも嫌になるほど悩まされた、「新型コロナウイルス感染症」も感染症位置付けが、2類から5類となり段落となり日常が戻りつつあります。しかし国際状況は依然不安定な状況にあります。さまざまな分野で問題解決に従事されていらっしゃる方々に感謝致します。書き出しから不安に感じる文面ですみません。

このような状況ですが、良い方向に向かわせて皆さんと笑顔の絶えない町・国・世界にしていきたい。そのためには皆さんと共に考え共に汗を流し一人一人が一歩を踏み出す。議会だよりが、そのきっかけ作りや情報提供に繋がる役割を果していければと思っています。一人の力は小さくてもみんなの力が集まれば大きな力となる。その力が町を国を世界を良い方向へ導くと信じています。

文責 野間 弘也

- 喜界町議会広報委員会  
委員長 良岡 理一郎  
副委員長 生島 常範  
委員 野間 弘也  
倉橋 博都  
米田 信也  
土岐 和貴